

# 職場のホッポ



やな ぼ り り こ さん  
**築場 理利子**さん

十和田市立中央病院 看護局長  
 認定看護管理者 助産師  
 八戸市出身。2016年4月から現職。  
 県外で暮らす3人の息子がいる。

UIJターナーを受け入れ  
 スキルを生かす取組を実践！

多様な人財の交流で  
 看護サービスが向上！

当院では、Uターナー者を積極的に

受け入れるとともに、これまでのスキルを存分に生かせるような取組を行っています。青森

COC+推進機構主催の研修会でホームページ制作について学び、今年1月、看護局のホームページをリニューアルしました。「Uターナー大

歓迎」のフレーズを大きく掲げ広く情報発信しています。

各部署には、新人とスタッフの橋渡し役をする「エルダー」を配置し、新人の精神的なサポートを行っています。スタッフの意見を積極的に採用しており、現在「ノー残業デー」に向けた取組を検討中です。

新しい風を入れることで、他のスタッフも刺激を受け看護サービスの質が向上しています。当院には日本看護協会認定の「認定看

護師」が8人います。その人たちをフルに活用することで、地方の病院でありながら全国平均以上の質の高い看護を目指し、提供できるのが誇りです。

今春採用の三浦晋悟さんと三浦舞さんは、首都圏の大病院で働いてきただけあって経験値も高く、医師からも信頼されています。特に晋悟さんは、認定看護師の資格取得を視野に入れているそうなので、これまで磨いたスキルをぜひふるさとの医療に生かしてほしいですね。

個人的な話ですが、我が家にも県外に住む3人の息子がいます。好きな仕事をしたいと願う一方、心のどこかで「1人でも地元に戻ってきてくれたら安心なのに」と、思うことも。多くの親御さんも同じように考えていると思うので、学生の方はもちろんUターナーを考えている方は、ぜひ青森で働く可能性について検討してみてください。



## 柿崎こうこの 青森の最強、水と空気

絵の勉強をするために上京したのは27年前。当時、猛烈に都会に憧れていた私は、自己紹介的な場面になると自嘲気味に「青森生まれです。なんにもない田舎ですけど」と言ったものでした。ところが今では、「いいところなんですよご飯がおいしい！ぜひお出かけください」と胸張ってアピールに勤しんでいます。

このコラムを書くにあたり、担当者Hさんに「新青森駅に降り立った瞬間、空気がうまい！って思うんです」と言ったらかなり驚いていましたが、特筆すべきは「水」です。帰省中に肌のキメが変わると言ったら驚かれるでしょうか。洗顔、お風呂が肝。何年も観察したこの説、自信あります！



柿崎 こうこ/イラストレーター。青森生まれ。食をはじめ、旅、美容、健康などライフスタイルをテーマとしたイラストが人気。雑誌、広告、書籍などを中心に活躍中。  
 柿崎こうこHP「ビューティセブン」/ <https://www.kakizakikoko.com>  
 @koko\_kakizaki\_illustration

子どもたちに教えてあげて  
 県外からも検索できます！

### 青森県合同企業説明会

日時：平成30年8月18日(土) 12:00~16:00

会場：リンクステーション青森 5階大会議室

<http://aomori-u.net/>

※対象者：平成31年3月卒業予定の大学・短大・高専・専修学校生、卒業後も就職活動を継続中の3年以内の既卒者 ※弘前・八戸から無料送迎バス運行予定(要予約)



あomorUIJターナー就職支援サイト

『Aomori-Job』

あomorいで、働く。 <https://aomori-job.jp/>

UIJターナーでの就職活動やインターンシップ参加のための交通費を助成しています

※助成内容：県内で開催する企業説明会、採用試験・面接、インターンシップに参加する際の交通費  
 ※助成額：助成対象経費の2分の1に相当する額又は17,000円のいずれか低い額



青森県の暮らしやすさ紹介サイト

『アオモリドラゲナイ』

<http://kurashiyasusa.aomori-brand.jp/>

